

労災事故 鉄製型枠に脚を“挟まれ”、死亡

(2015年6月5日)

5日午前7時10分ごろ、福島県のコンクリート工場で、会社員の男性(62)が、乗っていた鉄製型枠とともに倒れ、右足を挟まれた。男性は病院に運ばれたが、間もなく死亡した。50代男性も軽傷を負った。男性は型枠に乗り、解体作業を指示していたという。

平成27年度 全国安全週間 (7月1日～7月7日)
(準備期間:6月1日～6月30日)

危険見つけてみんなで改善、意識高めて安全職場

◆追突・バック事故の根絶◆

- ・前を走行する車には、適切な車間距離を保ちましょう
- ・交差点付近では、早目に減速しましょう
- ・わき見・漫然運転はせず、「危険意識」をもって運転に集中しましょう
- ・バック時は、必ず目で確認し、『安易なバック』はやめましょう

渡って来るかもしれない・・・、飛び出して来るかもしれない

バック時は 降りて確認 乗っても確認

追突、玉突き事事故を防ぐ 交差点手前で止まる時は車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認/よ～し！」

深酒の翌朝出勤したら・・・「だいじょうぶだろうと思った」

2015年6月5日(金)10時30分

酒気を帯びた状態で乗用車を運転をしたとして、埼玉県警は4日、男性警部補(40)を道交法違反(酒気帯び運転)容疑に書類送検した。書類送検容疑は4月9日午前7時ごろ、自宅から同署へ出勤する際、埼玉県の市道を酒気を帯びた状態で乗用車を運転したとしている。警察によると、警部補は前日夜、自宅でウイスキーやビールを飲んで就寝。9日朝、同僚に酒臭さを指摘され検査したところ、呼気1リットル当たり0・15ミリグラム以上のアルコールが検知された。警察では、車通勤の職員に出勤前後の呼気検査を指示しているが、警部補は「これまでは深酒をしても出勤前のチェックで検知されることがなかったので、だいじょうぶだろうと思った」と話しているという。

学校に向かう途中、自転車の高校生はねられ死亡

自宅を出た直後に道路を横断中

2015年6月5日(金)16時42分

5日午前8時前、神奈川県の上で、男子高校生が、軽乗用車にはねられ死亡しました。自転車で学校に向かう途中、自宅を出た直後に道路を横断中にはねられたとみられています。警察は軽乗用車を運転していた男性容疑者(76)を過失運転致傷の疑いで現行犯逮捕。

“赤信号”で、交差点に進入？

6歳と3歳の兄妹はねられ重軽傷

(2015年06月04日 11時28分)

3日午後9時40分ごろ、富山県の県道交差点で、母親と横断歩道を渡っていた6歳の男子と3歳の女の子が軽乗用車にはねられ、重軽傷を負いました。警察は、軽乗用車が赤信号で交差点に入ったとみて詳しく調べています。

交差点内、Uターンしようとした乗用車

直進の観光バスが衝突、乗客の21人病院搬送

2015年6月4日(木)19時23分

4日午後4時前、奈良県の交差点で観光バスが乗用車と衝突し、信号機をなぎ倒しました。警察によりますと、バスには運転手と乗客ら合わせて22人が乗っていて、うち21人が病院に運ばれました。いずれも軽傷とみられています。交差点をUターンしようとした乗用車と直進してきたバスが交差点内で衝突し、バスが歩道に乗り上げたということです。